

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	刈谷市立しげはら園		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 13日		～ 令和 8年 3月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 2月 1日		～ 令和 8年 3月 6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	13施設	(回答数) 13施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公立の事業所であるため、市内の幼稚園・保育園との連携が取りやすい。	事前訪問や支援者会議など、必要に応じて連携している。	
2	保育園、幼稚園での経験がある職員が訪問支援を担当することで、子ども理解や保護者への対応がしやすい。	外部の研修に参加したり、外部講師を招いての研修会を行ったりしている。	
3	市内の学校、保育園、幼稚園、事業所、等が「しげはら園」を知っている。	研修を開催する時には、市内の事業所や保育園、幼稚園等へも参加の案内をしている。	
4	心理士、言語聴覚士、作業療法士、保育士、幼稚園教諭等の資格を持つ訪問支援員が訪問をしている。	様々な専門職が訪問を行うことで、それぞれの専門的な見解を得られるように訪問を行っている。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	直接面談で報告をすることや、報告書を送付し電話で相談を受けている。それ以外(ZOOMや電子サイン等)では、訪問の報告や相談を行うことはしていない。	保護者からの要望はない。対面での相談を希望される方が多い。	職員が、通信システムの知識があまりないので、必要に応じて知識を得る。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	刈谷市立しげはら園	公表日	令和8年3月23日
		利用児童数	令和8年2月28日 回収数 18/20

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	13	2		3	・教材の有無より支援が全てだと感じている。	必要に応じて使用している備品をその都度お知らせしています。今後も同様の対応をしていく予定です。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	18					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18					
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	18					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1				必要に応じて専門職と共に訪問を行っています。今後も専門性のある支援に取り組んでいきます。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	16	1		1		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		ガイドラインを踏まえ、支援を設定しています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18				・計画書通りのみではなくその都度対応してもらっている。	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	17	1				訪問先の意向に合わせて訪問を行っています。訪問先からの回答を踏まえて対応します。
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18						
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	10	1	2	5		研修会等を開催しています。今後は、十分周知できるよう取り組んでいきます。	

保護者への説明等	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	17			1		発達や課題の共通理解ができているかの確認をします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				保護者の求める配慮とは何かを確認して対応していきます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	18					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	17	1				今後も訪問先と連携をとり、取り組んでいきます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	17	1				今後も報告書を作成し、それに基づいて報告をし、共有できるよう取り組んでいきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11		2	5	・興味がなく、確認すらしていない。	ホームページに記載しています。更新時にお知らせしていきます。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	14	1		3		契約の際には、重要事項の説明時にお話しています。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1		1		契約の際には、重要事項の説明時にお話しています。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18					
	28	事業所の支援に満足していますか。	18					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和 8 年 3 月 23 日	
刈谷市立しげはら園		訪問先数		令和 8 年 2 月 28 日 回収数 13/13		
チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのすべきこと、しない方がよいことを行動レベルで教えていただけるため、実践しやすい。 子どもの姿から分かりやすくアドバイスいただいています。 入学前の状況などを踏まえた助言をしていただけた。 具体的な例もあり、保育の中に取り入れやすかった。 集団生活では難しい提案もある。集団生活の中で支援する方法を具体的に知りたい。 行動や発達等の観点から支援の仕方について助言していただいたおかげで、児童の支援について見直すことができた。 毎月、具体的に子どもの姿の読み取りと具体的な支援方法を教えていただけ、翌日から取り入れています。 		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 自分たちでは知り得ない専門的な観点からのアドバイスが役に立った。 自分たちでは気づけない視点から助言頂けて勉強になった。 専門的に教えていただいています。 専門の先生に来校していただいて見ていただいてありがたいです。 授業や学校生活の様子から様々な視点で児童を見ていただいた。どのように支援するのも明確だった。 幼児理解や支援の面で教えていただけて、考え方の幅が広がります。 		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	1		<ul style="list-style-type: none"> 担任からの質問に適切に答えていただいた。 その子の課題や特性に合わせて回答、助言がいただけてよかった。 丁寧に対応していただいています。 気になる点など、その場や次の機会にきちんと回答していただけた。 質問や話ができる時間が限られている。 担任の困りごとを相談させていただくと適切に教えていただけてありがたいです。 	限られた時間では十分に話せないこともあり、電話等での相談もしています。必要であれば、支援者会議も行っています。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	13			<ul style="list-style-type: none"> 実際に子どもの姿をみていただけるので、その姿に合った課題が得られた。 問題行動に対して、どう向き合えばよいか、理解するとよいか助言していただけた。 保護者と支援について共有できています。 児童の課題を共有できることがありがたかった。 子どもの姿を見て、どの場面でどうするとよいか教えていただき、実践できています。 対象児への関り方や保護者への対応面で情報共有できたため、安心して関わることができました。 課題や困りごとは軽減された。 		
5 事業所からの支援に満足していますか。	12	1		<ul style="list-style-type: none"> 継続して見ていただけるため、その子の成長を共有できてよかった。 大変、心強いです。 心理士、OT、STの方にも専門的なアドバイスをいただける機会があり、大変ありがたいです。 		
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
<ul style="list-style-type: none"> 支援について適切な助言をいただけています。子どもの様子や環境から、園への巡回支援が必要か、家庭との連携が必要かという判断が明確でとても分かりやすく、連携しやすいと考えます。 子どもの様子から支援について丁寧にアドバイスいただきありがとうございます。教職員だけでなく、保護者にとっても大きな安心につながっていると感じます。今後も継続していただき、共に支援について考える機会にしていきたいです。 保護者への対応の仕方なども相談にのっていただき、大変ありがたかった。 大変助かります。いつもありがとうございます。 適切な支援方法をアドバイスしていただき参考になりました。 保育所等訪問支援を通して、園と保護者の距離が縮まり、お母様と共に子どもの成長・発達を喜び合えています。担任の支援の仕方を具体的に教えていただけるので、分かりやすくすぐに実践できています。職員の支援の仕方を褒めていただくことで、モチベーションが上がり自信ももてるので大変満足しています。 その子の特性や経過に応じて、より専門的な先生と一緒に訪問していただいた。とても参考になり子ども理解が深まった。今後、小学校へつながっていくと切れ目のない支援になると思った。 				訪問先と、対象児や対象児に対しての支援についての話をする時間が十分に取れないこともあるので、必要に応じて支援者会議を行うことや、早急な対応が必要な場合には電話での相談や、再訪問し、対面での話し合いもしてきました。今後も、保護者と訪問先との信頼関係をつなぎながら、支援を行っていきたいと思います。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		刈谷市しげはら園		公表日		令和 8 年 3 月 23 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	5		訪問施設や保護者に説明をする際に、書籍を活用したり、通所施設で日常的に使用されている教具・教材を使用したりしている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		利用を希望された方全員に、支援を実施している。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後、外部評価を検討していきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		スキルアップ研修等、業務に活かせる研修に参加する機会がある。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	5		こどもと保護者のニーズを聞き、支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5		計画を立てる際に訪問先の意向も確認している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・対象児の園での姿や困りごと等について事前に確認をした上で観察している。 ・専門職も必要に応じて訪問し情報を共有している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・当日の子どもの姿や支援内容を振り返ると共に、専門職からの助言も受け、共有している。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	5		・当日の子どもの姿や必要な支援について、毎回記録を残している。		
関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5		・言語聴覚士や作業療法士等からの助言を受け、支援に活かせるようにしている。		
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・月に1回、対象児の園での姿や課題について伝え、家庭での姿について情報共有している。		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		必要に応じて、支援プログラム等の研修についての参加を呼び掛けている。		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				

保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			・家庭での様子や事業所での姿、困りごと等について話を聞き、必要な場合は助言をしている。 ・定期的な相談に加え、保護者からの要望に応じた個別相談の機会を随時設けている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			・保育所等訪問支援を利用されている保護者同士での交流のは少ないが、きょうだい児座談会や研修等で交流の機会を作っている。 ・本施設の児童発達支援事業の利用者と共に交流する機会がある。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	3		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			市の規定に準じている。
訪問先施設への説明等	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	5			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5			・定期的に訪問時の様子や支援方法について書面や口頭で保護者へ伝えている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			マニュアル等は通所と共通で策定している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		契約時に対応等については、説明と了承のサインを保護者からいただいています。事業所の計画にも、記載しています。